

みなさんの「地域づくり」の活動を応援します

第23回

F U T U R E C R E A T I O N 2 0 2 2

中部の未来創造大賞



第23回「中部の未来創造大賞」について

「中部の未来創造大賞」は、地域づくりのための活動を表彰し、新しい時代にふさわしい中部の発展とその啓発を促進しようとするものです。
第23回目にあたる今回は33件の応募をいただきました。
表彰委員会による審査の結果、大賞1件、優秀賞3件、特別賞2件が選考されました。
本冊子は、これらの選考された活動の概要を紹介するものです。
今後の地域づくりに広く役立てていただければ幸いです。

■受賞の対象

- ・受賞の対象は、愛知県、岐阜県、三重県、静岡県、長野県における社会資本整備及び、その利用・保全に関する活動に顕著な貢献が認められるもの
- ・個人又は、団体(自治体、企業、NPO等)を対象



株式会社On-Co



魚と子どものネットワーク



水辺とまちの入口研究所



田んぼで街を守り隊



長野県上伊那農業高等学校
コミュニティデザイン科 グローカルコース



C O N T E N T S

第23回「中部の未来創造大賞」について	1
大賞	
世代をつなぐ鈴鹿川流域の取組み 魚と子どものネットワーク	3
優秀賞・中日新聞社賞	
堀川検定～名古屋の母なる川を知っているか～ めざせ!堀川アンバサダー 水辺とまちの入口研究所	5
優秀賞	
チャレンジ!「MIRAINAカンパニー」プロジェクト 長野県上伊那農業高等学校 コミュニティデザイン科 グローカルコース	7
優秀賞	
田んぼで浸水対策～農家が街を守る～ 田んぼで街を守り隊	8
中部経済連合会賞	
さかさま不動産 株式会社On-Co	9
選考を終えて(表彰委員より)	10

世代をつなぐ鈴鹿川流域の取組み



魚と子どものネットワーク

URL <http://sakanatokodomo.web.fc2.com/>



魚と子どものネットワークは魚が棲める水環境を保全し、それを次世代に伝えていくことを目的として2008年に設立されました。水辺に魚が泳ぎ、子どもたちがイキイキと暮らせる環境は、自然環境としても、社会環境としても素晴らしいものではないでしょうか。このビジョンのもと、水辺の環境保全、環境教育、コーディネーター（つなぎ役）に関する活動を行っています。

環境保全や生物多様性の重要性が叫ばれる昨今でも、淡水魚の生息地は年々減少し、多くの種が絶滅の危機に瀕しています。身近な水辺も少なくなり、子どもたちが自然の中で遊ぶ姿もほとんど見られなくなりました。

そこで、当会は子どもが自然に触れる機会を増やすとともに、大人も子どもも一緒になって水辺の保全を進めていく枠組みとして、2019年に親子クラブ「魚と子どもKidsクラブ」を設立し、「鈴鹿川探検隊」としての取組みを進めています。流域の上流から下流、周辺のため池や水路などで、魚つかみを中心とした自然観察を行います。五感で自然を感じ、そこから流域や生態系、SDGsなどへ学びの視野を広げ、発信する役割を担っています。

取組みを進める中で、行政や大学、市民団体など、活動に関わる仲間も増えてきました。また、経験を積んだ中学生・高校生がスタッフや講師となって活躍しています。これからは流域で取組みの輪を広げると同時に、世代をつなぐ役割を担うことができればと思います。



生き物解説を行う魚と子どもKidsクラブの中高生



夢中で生き物を観察する参加者



鈴鹿川探検隊・中流編&里山塾・鈴鹿川探検



企業と連携した淡水魚の保全活動と環境教育 ～株式会社豊田自動織機さんとの取組み～

堀川検定～名古屋の母なる川を知っているか～ めざせ！堀川アンバサダー



水辺とまちの入口研究所

URL <https://mizumachiken.wixsite.com/home>



水辺とまちの入口研究所は、名古屋のまちなかに流れる堀川の納屋橋に拠点をおき、水辺のこと、まちのこと、もっと知りたい。楽しみたい。つながりたい。そんな想いをあと一歩前に進めるための知的探求所です。2017年12月に設立し、調査や実践活動を通じて、水辺の活性化をすすめ、水辺と水辺のあるまちの価値を向上させることを目的として活動しています。

これまで、堀川の魅力資源や景観に関する調査、ナゴヤ圏域の水辺に関するワークショップ、資料編集などに取り組んできました。その積み重ねを活かし、行政や他団体の協力も得て、堀川に関する深い知識を問う新しい検定「堀川検定」を創設しました。本当の名古屋らしさを知りたいと思うなら、「堀川」を極めましょうとPRしています。

古くは木曾の木材を運び、舟運を利用して、暮らしに必要な多くの物が運ばれ、名古屋のものづくりや産業の発展につながりました。堀川沿いで花火を見たり、散歩やお花見、船やSUPに乗って楽しむ人もいます。そうした、堀川が育むまち、人、産業、歴史、文化など幅広い分野から問題を出題します。初級、中級、上級編の試験があり、上級編合格者には、堀川の魅力を広める役“アンバサダー”を任命します。

「知りたい。気になる。」気持ちをきっかけにして、謎解きのように楽しみながら、我がまち名古屋・堀川に関心を持ってほしいと活動しています。

さて、最後にみなさんに問題です。

「堀川にうなぎは生息している、○か、×か？」



「公共物揚げ場」だった痕跡を示す石柱を見つけて喜んでいます。



堀川検定の問題を分類、選定中



検定前には、堀川のまちあるきやクルーズガイドで学ぶ機会もあります。



第1回堀川検定おさらい会は配信で行い、就任したアンバサダーも問題解説をしました

チャレンジ！ 「MIRAINAカンパニー」プロジェクト



長野県上伊那農業高等学校
コミュニティデザイン科 グローカルコース



このプログラムの特徴は、生徒の自主性を育む仕掛けとして地域連携の中で、以下の4つのテーマを設けているところにあります。

一つ目は、小中高大が連携した学びの場を作ることによって自己の振り返りや将来の地図を描きかけづくりをするための組織作りです。大学や高校、中学校、保育園の教育機関がある南箕輪村の特徴を生かし、新たな教育プログラムを提案企画し、段階に応じた学びを共有することでキャリア教育につなげていきたいと活動を始めています。

二つ目は、伊那谷を代表する昆虫食文化の伝承です。現在、人々の暮らしは一変し、若者の都市への流出や高齢化が進む中で、その文化は失われつつあります。私たちはその昆虫食文化を伝承するためにざざ虫漁に注目しました。漁体験やざざ虫を活用した新商品「ZAZATEINふりかけ」の開発と販売、ざざ虫の人工繁殖にも挑戦し、この取り組みはドキュメント映画化になり配信されています。

三つ目は、伊那谷で高校生オリジナルの菌の活用プロジェクトです。長野県は長寿県として素晴らしい発酵生活があります。今年度は甘酒を中心に活動し、甘酒アイス・甘酒グラノーラをブラッシュアップするとともに、新たに甘酒寒天ドリンクを開発し、地域の各店舗で販売し魅力を発信してきました。

四つ目は、空間のデザインです。本校の敷地内には、あまり利用されていない場所があり、その場所を利用して地域の方々と学び出会える場所づくりを設定することを目的としています。これまでに、ハーブの種類とその効果、栽植するハーブの挿し木増殖に取り組み、フローラルウォーターの商品化に取り組んできました。伊那谷の暮らしの中にハーブをとり入れ、人と生き物の出会いの空間をデザインしていきます。



ざざ虫漁体験



ざざ虫ふりかけ販売

田んぼで浸水対策 ～農家が街を守る～



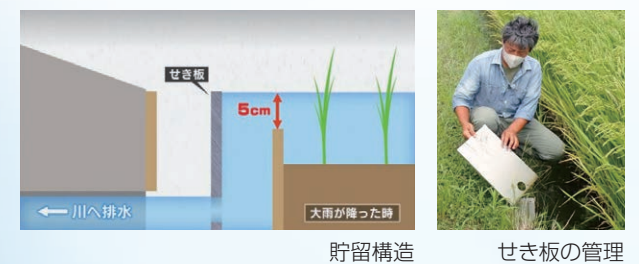
田んぼで街を守り隊



田んぼで街を守り隊は、安城市内の米農家が主体となり、過去に水害が起きた河川の上流域で、田んぼに雨水を貯留することにより、水害から街を守るために活動しています。この活動がスタートしたのは、市役所から「田んぼで雨水を貯めることに協力をしてもらえないか。」と相談があり、「田んぼで街の水害を軽減できるなら」という思いから活動が始まりました。

当初は、田んぼに通常の水位より5cmだけ余分に雨水を貯めることに対して、稲の成長への影響などに不安もありましたが、実際には、稲への影響は全くありませんでした。雨水を貯める活動の内容は、排水柵にせき板を設置し、田んぼの水位の管理をしています。そして、田んぼから水を抜く時期には、盗難防止のためにせき板を取り外し、各自の倉庫などで、次の田植えの時期までせき板の保管をしています。この他にも、田んぼに大切な機能があることを広く市民に知ってもらうために、市役所、JAあいち中央農協と協働し、クイズイベントの開催や、ふれあい田んぼアート、県内外の自治体からの現地視察や、テレビ局の取材に対応するなど幅広い活動を行っています。

最後に、安城市では都市化の進展によって、年々農地面積が減少しています。気候変動の影響も加わり、豪雨による浸水リスクが高まっています。子供たちの未来のためにも、私たちが街を守っているという誇りを胸に、今後も活動を続けていきます。



田んぼアート上空



田植え



株式会社On-Co

URL <https://sakasama-fudosan.com/lessee/>



「さかさま不動産」は、物件を紹介する従来の不動産流通システムとは逆に、不動産を借りたい人の情報を掲載しているマッチングサービスです。

空き店舗や空き家のオーナーが、借り手を選び、合意に至れば、各自で賃貸契約していただく仕組みです。

「さかさま不動産」では、これまで約170人の掲載、17件のマッチングがあり、テレビ・新聞など100回以上メディアに取り上げられるなど、大きな社会的インパクトを与えています。

また、活動は全国に広がりつつあり、宮城県、広島県、長野県、岐阜県、愛知県、栃木県、鹿児島県で支局が開設され、20を超える地域で、支局の開設に向けた準備が進んでいます。

また、ローカルにおいても、桑名市と「さかさま不動産」を活用し、地域の活性化に取り組む連携協定を締結しました。

「さかさま不動産」の取組は、「空き店舗や空き家のオーナー」と「借り手」と繋げる事はもとより、空き家という資源を活用して、オーナーや地域の人たちが借り手の人を応援する流れを生み出し、地方創生を担う人材を育成する取組なのです。



さかさま不動産講演



マッチング7件目



多治見支局開設イベント

委員長

三重大学名誉教授

渡邊 悌爾 わたなべ ていじ

今回応募された活動はいずれも、将来のために意義深い、意欲的な社会貢献の活動だと評価される。特に若い世代の皆さんが中部圏の未来を拓く地域づくりに熱心に取り組む、発展性のある活動を続けてこられたことに感銘を受けた。

副委員長

駿河静岡歴史楽会 事務局代表

竹内 礼子 たけうち れいこ

皆さんの活動が身近にあるテーマを取り上げていることに親しみを感じました。大きな課題も身近なことから進めていけば解決や発展につながっていくことを理屈抜きに楽しむ姿が印象的でした。

委員

名古屋大学大学院教授

小松 尚 こまつ ひさし

私たちに潤いと恵みを与えてくれる水辺や、慣習や固定観念を反転させた活動など、まちや社会に存在する地域資源を新鮮な目でとらえた各地の取り組みにエールを送り、今後の成果を再び共有できる時を楽しみにしています。

委員

名古屋工業大学教授

増田 理子 ますだ みちこ

新型コロナウイルスのため、活動が制限される中、若い人たちの活動が活発に行われていることに大変心を動かされました。特に生物多様性の保全のための取り組み、空き家対策、流域治水などの新しい取り組みも多く、これからの中部の発展が期待されます。

選考を終えて (表彰委員より)

委員

中日新聞社事務局次長

長坂 誠 ながさか まこと

地域を守りたい、未来へつなげたいという熱い思いだけでなく、次世代のリーダーが育つ活動となっていることに感動しました。より多くの人がつながり、豊かなまちづくりが活発になるSDGsの取り組みが、今後も長く継続されることを期待します。

委員

(一社)中部経済連合会常務理事

栗原 大介 くりはら だいすけ

未だコロナ禍が収束せず、人と人との直接的な繋がりが疎遠になりがちな状況下で、様々なアイデアを出し地域を盛り上げようと活動をされている各団体の熱い思いが伝わってきた。更に多くの人を巻き込み発展されることを期待しています。

委員

国土交通省中部地方整備局 企画部長

八尾 光洋 やお みつひろ

高校生らが積極的に地域の課題解決に参加する活動、次世代リーダー育成を意識した活動など若い世代が参加する取り組みが数多く見受けられました。将来を担う「若い力」が育ち、この地域の持続的な発展を支えていく原動力となることを期待します。



中部の未来創造大賞推進協議会

国土交通省中部地方整備局

長野県

岐阜県

静岡県

愛知県

三重県

静岡市

浜松市

名古屋市

中日本高速道路株式会社 名古屋支社

名古屋高速道路公社

独立行政法人
水資源機構 中部支社

地方共同法人
日本下水道事業団 東海総合事務所

独立行政法人
都市再生機構 中部支社

公益社団法人
土木学会 中部支部

一般社団法人
中部地域づくり協会

一般社団法人
日本建設業連合会 中部支部

一般社団法人
建設コンサルタンツ協会 中部支部

一般社団法人
長野県建設業協会

一般社団法人
岐阜県建設業協会

一般社団法人
静岡県建設業協会

一般社団法人
愛知県建設業協会

一般社団法人
三重県建設業協会

株式会社中日新聞社

後援／一般社団法人
中部経済連合会

中部の未来創造大賞では次のような活動を表彰しています。

1. 住民、NPO、企業、学校、行政等が工夫して取り組んでいる地域づくりの活動で、以下に該当するもの

- 人を惹き付け、選ばれる地域づくりをするもの
- 人が豊かに過ごせる地域を共助・参加型でデザインするもの
- 生活を楽しむ自然、歴史、文化、芸術等の魅力を感じることができる地域づくりをするもの
- 子供が生まれ、女性、若者、高齢者、外国人等様々な人材が活躍・共生できる地域づくりをするもの
- クリエイティブな仕事、イノベーションが生まれる地域づくりをするもの
- SDGsの達成など世界的課題にチャレンジする地域づくりをするもの
- ネットワークの活用で、一体となって成長し、隅々まで豊かさを供給するもの

2. 災害時の人命救助、復旧活動や防災に関するもの

第24回「中部の未来創造大賞」の募集予定

■募集期間(予定)

令和5年6月上旬～8月末（詳細は、募集開始時にホームページに掲載します。）

■応募条件

- 長野、岐阜、静岡、愛知、三重の5県内における活動を対象とします。
- 自らが参加している活動であり、特許・著作権またはプライバシー等の権利を侵害しないものに限りします。
- 資格、年齢等は問いません。
- 再応募ができます。(但し、これまでの「中部の未来創造大賞」にて大賞を受賞された活動は除きます)

■選考について(予定)

学識経験者等からなる表彰委員会により選考します。必要に応じて現地調査、面談等を行います。

■賞(予定)

- 大賞・・・1件 [賞状、盾、賞金10万円]
- 優秀賞・・・3件程度 [賞状、賞金5万円]
- 特別賞・・・中部経済連合会賞、中日新聞社賞

6月上旬
募集開始

8月末
募集締切

9月～10月
事前審査

10月～12月
現地調査

2月
表彰式

●過去の大賞受賞活動

第16回

和みの散歩道の会
～高架下空間を活用した地域結び～

和みの散歩道の会



第19回

地域の大切な自然や環境を守る
「地球にやさしいエンジニア」

静岡県立浜松城北工業高等学校・環境部



第22回

地域を超えて支え合う、「お互いさま」が広がる
プロジェクト「ヒダスケ!」

岐阜県飛騨市



FUTURE CREATION 2022

中部の未来創造大賞

主催／中部の未来創造大賞推進協議会

中部の未来創造大賞

で

検索

中部の未来創造大賞推進協議会事務局
一般社団法人 中部地域づくり協会 業務管理部

TEL (052) 962-9455

URL <https://www.cbr.mlit.go.jp/kikaku/mirai/index.htm>

